第4回

農楽マッチ勉強会 セミナー in 東京

2019年

9月7日 土 13:30-16:30

会場　マイナビ　セミナールール

〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町7－1　ザ・パークレックス人形町6F
（東京メトロ日比谷線・都営浅草線「人形町駅」徒歩4分

タイムスケジュール

1. 開催あいさつ　（5分）
2. ミニセミナー　（30分）　(株)セラク　持田宏平氏
3. 休憩　（5分）
4. 特別講演（90分）　中村克之氏
5. 参加者交流　フリータイム・名刺交換など（40分）

※終了後　近くの居酒屋で交流会（参加自由）　実費割り勘

<参加費>　2,000円　（当日会場でお支払いください）

セミナー　13:35～14:05

「今、なぜスマート農業に取り組まなければならないのか」

講師：持田 宏平（株式会社セラク みどりクラウド事業部・データサイエンス事業部 事業部長、一般社団法人日本農業情報システム協会 理事）

1979年島根県出雲市生まれ。2004年に島根大学大学院生物資源科学研究科修了後、株式会社セラクに入社。SEとして開発業務を行うかたわら、スマートフォン アプリやIoTサービスの研究開発を行う。2010年に天ぷら侍、2011年にスマート 洗面台、2013年にスマート野菜工場を発表し国内外から注目される。2014年から 農業IoTの研究に着手、2015年に「みどりクラウド」としてサービスを展開。 2019年4月より一般社団法人日本農業法システム協会理事。 今、なぜスマート農業に取り組まなければならないのか、また、スマート農業を 導入することによって得られた効果などを紹介いたします。

特別講演　14:10～15:40

「地域資源と連携した都市農業の広がり」

講師：中村克之（国分寺中村農園/（株）ナヴィラ代表取締役　JA東京青壮年組織協議会理事）

商社系IT企業に18年勤務し、SE、事業企画、営業、経営企画等を経験。サラリーマン時代に農家の一人娘と結婚し、家業を継がない前提で婿養子となるも、子供が出来て長女の衝撃的な一言で、2009年に就農。これまで両親が行ってきた東京うどや30種程度の野菜栽培に加え、イチゴやトマトの高設栽培を初める。今回は、地域通貨での飲食店の人々との出会いをきっかけに、地場野菜を市内の飲食店に提供する「こくベジ」事業への取り組み、更には東京農業の発信の場として2018年6月に東京・赤坂見附で開業した「東京農村」設立に至る経緯や想いについてお話させて頂きます。

申込み　電話・ＦＡＸ・メールいずれかで申込み下さい。　担当　山本
ＴＥＬ：090-3443-9588　ＦＡＸ：072-921-4737　メール:　yamamoto.huminori@gmail.com

個人情報の取り扱い　当日、講師へ向けたアンケートを頂きます。申込み・及びアンケートで取得した個人情報は、当セミナーでのみ利用し、第三者には提供いたしません。

主催　NPO法人農楽マッチ勉強会